

物流効率化により地域の基幹産業を支援

- 福島県は夏秋きゅうりの収穫量が全国1位であり、伊達地域が一大産地となっている。
- 地元JAでは、夏秋きゅうり産地日本一を継続するため、相馬地方に新たな生産拠点を設け、東北中央道を利用し出荷予定。
- 東北中央自動車道（相馬～福島）の全線開通により、輸送の効率化による農業振興、地域の特産物の出荷拡大を支援。

▼ J A ふくしま未来の事例

東北各地へ出荷



きゅうり選果機を増設した
J A ふくしま未来 東部広域共選場（伊達市保町）



関東・関西・北陸方面へ出荷

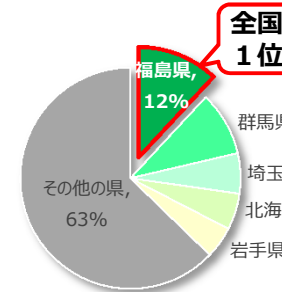
【凡例：搬送ルート例】
 開通後のルート
 相馬からの構想ルート



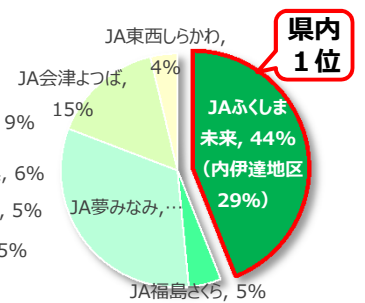
■ 職員には相馬地方の方も多く、**全線開通すれば相馬からの通勤が可能となり、相馬から通いたいという意向を聞いています。**

出典：J A ふくしま未来ヒアリング結果（R3.1）

■ 夏秋きゅうりの収穫量（R1年）



■ J A 全農福島取り扱いきゅうり出荷実績



出典：「作況調査（野菜）結果」（農林水産省）

販売期間：R2/07/01～R2/10/31
出典：「J A 全農福島」

【日本一の夏秋きゅうり産地】

・ J A ふくしま未来伊達地区きゅうり生産部会が2018年度の夏秋きゅうり販売高26億円を達成し、全国トップ。

資料：日本農業者新聞2019年2月21日付東北版



■ J A ふくしま未来による「夏秋きゅうり産地日本一継続構想」



■ 相馬地方での生産拡大を目指しています。収穫されたきゅうりは伊達の共選場で選果し、全国出荷も可能となるため**相馬福島道路の全線開通が欠かせない要素**です。

出典：J A ふくしま未来ヒアリング結果（R3.1）